

本戦出場騎手



スーパージョッキーズトライアルは
JRA札幌競馬場で開催される
「2015ワールドオールスタージョッキーズ」
に出場する地方競馬代表騎手の選定競走です。



成績は平成27年4月20日現在のもの



村上 忍 (岩手)

5回目

2008年に初の岩手リーディングを獲得すると、近7年で6度のタイトル。昨年は、ライズラインでの岩手ダービー、不来方賞の岩手3歳二冠制覇を含め自身初の200勝超えとなる211勝をマーク。2位に50勝近い差をつけた。昨年のSJTでは、第1ステージを終えて2位だったが、負傷のため第2ステージは無念の欠場。今年は雪辱を期す。

生年月日 / デビュー年 77年2月4日 / 94年7月 2014年度所属場成績 947戦217勝
生涯成績 14939戦 2473勝 過去のSJT成績 2011年 6位



的場 文男 (大井)

10回目

地方競馬の騎手としては3番目に年長の58歳。地方通算6700勝超は、歴代2位、現役1位。昨年も135勝を挙げ、年間100勝以上は、30年連続31度目。今年も100勝以上のペースを維持。SJTでは2009年に総合優勝し、ワールドスーパージョッキーズシリーズ(当時)へも参戦。まずは第1ステージの地元大井競馬場で上位を狙いたい。

生年月日 / デビュー年 56年9月7日 / 73年10月 2014年度所属場成績 1238戦142勝
生涯成績 37048戦 6718勝 過去のSJT成績 2009年 1位



木村 健 (兵庫)

6回目

昨年10月に地方通算3000勝を達成。ハイレベルな争いとなった昨年の兵庫最多勝争いでは、田中学騎手に2勝及ばず、271勝で2位だった。過去のSJTでは2011年は1ポイント及ばず2位、昨年も4位など、あと一步のところで優勝には手が届いていない。今年、第2ステージが行われる地元園田競馬場で、夢舞台への切符をつかみたい。

生年月日 / デビュー年 75年8月16日 / 93年10月 2014年度所属場成績 1063戦261勝
生涯成績 19815戦 3150勝 過去のSJT成績 2011年 2位



左海 誠二 (船橋)

初出場

2005年以降は南関東で毎年80勝以上を挙げ、安定してリーディングトップ10前後の活躍を見せていたが、昨年自己ベストの124勝を挙げ5位と躍進。今年は昨年を上回るペースで勝ち星を重ねており、トップ3入りをうかがう勢い。3月18日には、オウマタイムで京浜盃(大井)を圧勝。快進撃はまだまだ続きそうだ。

生年月日 / デビュー年 75年5月4日 / 93年4月 2014年度所属場成績 751戦126勝
生涯成績 11522戦 1590勝 過去のSJT成績 _____



藤田 弘治 (金沢)

初出場

金沢1位の吉田晃浩騎手が負傷のため、2位の藤田弘治騎手が繰り上がった。2001年のデビューから着実に勝ち星を増やし、2012年92勝(金沢2位)、2013年84勝(同3位)、昨年90勝(同2位)。ここ2年の騎乗数では金沢最多で、活躍が目覚ましい。SJT本戦には今回が初出場となるが、昨年ワイルドカードに出場して6位だった。

生年月日 / デビュー年 80年6月1日 / 01年4月 2014年度所属場成績 665戦93勝
生涯成績 6650戦 688勝 過去のSJT成績 _____



永森 大智 (高知)

初出場

高知では赤岡修次騎手が昨年まで9年連続リーディングだが、2012年、2013年はともに61勝差、昨年は18勝差と、徐々に迫っているのが永森大智騎手。昨年のSJTはワイルドカードで3位と惜しくも本戦出場を逃した。今年SJTの舞台となる大井、園田ともに騎乗経験があり、出場騎手唯一の20代という若さと勢いには注目だ。

生年月日 / デビュー年 86年11月8日 / 04年10月 2014年度所属場成績 749戦215勝
生涯成績 6138戦 966勝 過去のSJT成績 _____



森 泰斗 (船橋)

5回目

1998年に栃木(宇都宮・足利)でデビューし、2005年に船橋へ移籍。徐々に成績を上げると、昨年は246勝を挙げて初の南関東リーディングに。今回の第1ステージの舞台となる大井競馬場でも昨年99勝をマークし、リーディングを獲得している。SJTには5年連続での出場。2012年の6位が最高だが、存在感をみせたいところだ。

生年月日 / デビュー年 81年1月1日 / 99年4月 2014年度所属場成績 1642戦254勝
生涯成績 13562戦 1406勝 過去のSJT成績 2012年 6位



吉井 友彦 (笠松)

初出場

デビューは岩手だが、2008年から笠松所属に。昨年のSJTではワイルドカード7位で、本戦出場ならず。その昨年は夏以降に勝ち星を伸ばして初の笠松リーディングを獲得。トウホクビジン、リックタラキチらとのコンビで、他場での騎乗経験があるのは強み。笠松所属としては2006年の濱口楠彦騎手以来となる総合優勝を狙う。

生年月日 / デビュー年 83年11月16日 / 01年4月 2014年度所属場成績 563戦129勝
生涯成績 4943戦 546勝 過去のSJT成績 _____



山口 勲 (佐賀)

9回目

2008年以降、7年連続で佐賀リーディングを堅守している名手。45歳になった今年も2位以下に大差をつけてトップを独走。2年連続でNARグランプリ最優秀勝率騎手賞を受賞している勝負強さも魅力。SJTには9度目の出場。2012年には総合優勝し、ワールドスーパージョッキーズシリーズ(当時)でも第2戦を制し6位と健闘した。

生年月日 / デビュー年 70年3月28日 / 87年10月 2014年度所属場成績 681戦206勝
生涯成績 18028戦 3538勝 過去のSJT成績 2012年 1位



真島 大輔 (大井)

4回目

2001年にデビューし、2008年以降はコンスタントに年間100勝以上をマーク。2012年172勝(南関東3位)、2013年201勝(同2位)、昨年191勝(同3位)とトップジョッキーの仲間入りを果たした。SJTには今回で4年連続の出場となるが、これまでは昨年の9位が最高という成績だけに、今年は期するものがありそうだ。

生年月日 / デビュー年 83年7月8日 / 01年10月 2014年度所属場成績 1297戦184勝
生涯成績 12232戦 1347勝 過去のSJT成績 2014年 9位



岡部 誠 (愛知)

7回目

2006年以降、7度の愛知リーディングを誇る名手だが、昨年は南関東での期間限定騎乗などもあり丸野勝虎騎手にトップを譲った。SJTでは2007年に3位(2位とは同ポイント)、2008年には2位など、僅差で敗れた悔しさをバネに飛躍を誓う。愛知所属では史上初となる地方通算3000勝も目前。今夏には2つの大きな目標となる。

生年月日 / デビュー年 77年3月3日 / 94年10月 2014年度所属場成績 481戦126勝
生涯成績 16652戦 2964勝 過去のSJT成績 2008年 2位



ワイルドカード
第1位の騎手



ワイルドカード
第2位の騎手



ワイルドカード
第3位の騎手